



## 役員だより

### タンパク質の栄養的価値

関西サナトリウム  
院長 花房 辰哉

タンパク質を英語で「PROTEIN」と言うのは、一番大切な物という意味である。タンパク質には、生命維持に直接関与する諸々の酵素、細胞・組織・器官の構造支持体であるコラーゲン、筋肉の成分であるミオシンとアクチン、とこずれ等とも関連する血清アルブミン、外敵から身をまもる免疫グロブリン、酸素を運搬するヘモグロビン等々がある。まさにタンパク質は生命のセントラル・プレーヤーである。

タンパク質自身は様々な生命維持活動を行うにつれ、タンパク質が消耗し遂には分解除去されるので、常に新たに合成して補わねばならない。タンパク質も物質である限り何度も使用すると、消耗しがたがく。故タンパク質は常に機能し、一方で合成、他方で分解が絶え間なく続けられる。この様なタンパク質の生々流転或いは動的平衡こそが、まさに生命そのものである。

しかしながら、タンパク質の栄養として使うことのできる貯蔵はないと言ってよい。例えば病気をして一週間も寝込むと、手足の筋肉がげそつとやせ細ることは誰もが経験するところである。廃用萎縮という生理現象で、使われない体の成分は無駄として直ちに除かれ糖質に変える仕組みが生体には存在する。従ってタンパク質の栄養面で重要なことは、絶え間なく必要十分な量を補給することであり、三度の食事はタンパク質だけは等分に分けて摂ることが理想である。朝食はBreakfastという言葉が如く、一日で一番長い断食「fast」を破る＝「break」なのである。ほっそりとした美人になるため朝食を抜く行為は早くから骨粗しょう症を来すことになり、かえって老化もはやめることになる。

平成三十年十月一日

## お知らせ

### 家族会を対象とした学習講演会を行いました。

平成30年10月6日、地域活動支援センタールリエ主催の三枝会（みつえだかい）の家族様を対象とした学習会に、当院の教育研修部長の伏見看護師が講師を務めることになりました。

家族会とはお互いに支え合う、学び合う、働きかける場です。様々な困難を抱えたご家族が集まり、日頃の悩みや困っていることなどを話し合い、支え合いを通して、地域で安心して生活できるようになるために



ルリエさんの協力を得ながら多くの方に出席いただくことができ有意義な勉強会となりました

活動を行う自助グループになります。

講義内容は「こころを病んだ人の関わり方」と題し、実務の中で感じた葛藤や当事者の世界観を講師の体験談を交えながら講義させていただきました。講義終了後も多くの質問をいただいたのですが、障害福祉の知識は我々が思っている以上に地域には浸透しておらず、改めて精神科医療の推進、障害福祉の啓発に努めなければと感じさせられました。

当院は家族会を設置しておらず、これまでも三枝会との関係も希薄でありましたが、今回の学習会をきっかけとして、当院の入院患者家族にも案内できるような関係性を持つことができ、有意義な勉強会になりました。



積極的に多くの質問をいただきました

# 新入職員・職員紹介

既存の作業療法室・理学療法室およびデイケアセンターを統括し、新しく総合リハビリテーション科を新設いたしました。



## 総合リハビリテーション科

課長 佐々木 洋明

当院でのリハビリテーションとしましては、デイケア、精神科作業療法、理学療法といった、それぞれの部門が個々に力を発揮していますが、組織的・系統的な動きの部分については発展途上の状態です。

今後、リハビリテーション部門内はもちろんのこと、他部門とのコミュニケーションも活発に行い、どうすれば効果的に患者様に「より良い生活」を提供できるのかを追究していきたく存じております。また、そういった中で、リハビリ部門ひいては病院全体の活性化をはかれればと考えております。

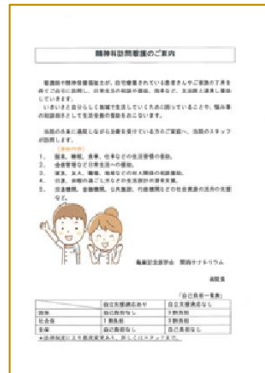
まだまだ未熟者ですがどうぞよろしくお願いいたします。

# 地域連携室だより

## 精神科訪問看護について

当院では外来患者様を対象に訪問看護を提供しております。病気や障害があっても、住み慣れた自宅などで安心して療養生活が送れるように、精神科領域に特化したスタッフが自宅などを訪問させていただき、看護ケアを提供し、療養生活をサポートさせて頂いております。具体的にはバイタルチェック、服薬管理などが主になりますが、当院では「傾聴」を重視したコミュニケーションを図り、患者様に寄り添った訪問看護を提供しています。

訪問看護課  
担当 雨宮



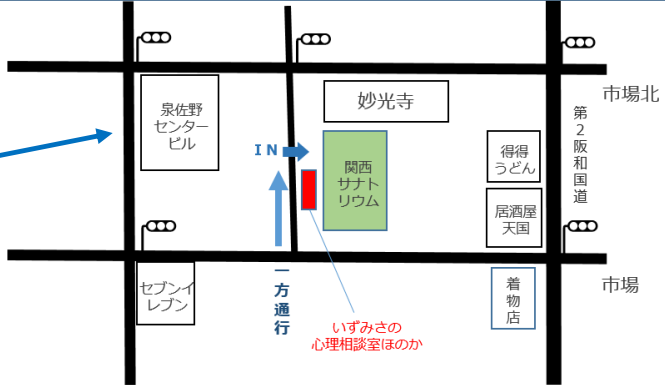
関西サナトリウムでは、患者様や家族様が安心して医療・福祉サービスを利用できるように、地域医療連携室を設け、精神保健福祉士が相談を受け付けております。受診や入院に関する事や各種福祉制度を利用したいといった場合等、お気軽にご相談ください。

### 相談内容

- ・受診や入院の相談
- ・障害年金や障害者手帳の申請相談
- ・障害福祉サービス・介護保険の利用相談 等

地域医療連携室  
担当 藪 仲井 鍵田 谷口

## 交通アクセス



○電車でお越しの方 南海泉佐野駅下車 南南東400m (徒歩5分)

○車でお越しの方  
 阪神高速湾岸線「泉佐野IC」より南東へ1km  
 関西空港道「泉佐野IC」より国道26号線右折→「市場」交差点を左折→200m右折

